

ドイツ美術の魅力

宗教改革が起こったドイツでは、その動乱の中でルネサンス美術が開花しました。魅力的な美術家が次々に輩出し、いまなお世界中の人々を魅了しています。そのような豊かなドイツ美術のうち、中世からルネサンス美術への橋渡しをしたハンス・ホルバインの親子、妖艶なヌード美術によって現在も人気の高いルーカス・クラナハ、そしてドイツの神秘的な自然観を反映した18世紀のフリードリヒらの風景画を取り上げます。



4月2日(木) 2時～3時30分

ホルバイン親子の世界

5月7日(木) 2時～3時30分

クラナハとヌード芸術

6月18日(木) 2時～3時30分

フリードリヒとドイツ・ロマン派

講師：宮下規久朗

神戸大学大学院人文学研究科教授・
放送大学客員教授

東京大学文学部美術史学科卒業。同大学院修了。兵庫県立近代美術館学芸員などを経て 2013 年より現職。著書『カラヴァッジョー聖性とヴィジョン』でサントリー学芸賞受賞。他の著書に『美術の力』『闇の美術史』『聖母の美術全史』など多数。最近の著作に『日本の裸体芸術』(ちくま学芸書房)

会場：芦屋市民センター本館401室 募集：90名 受講料：1,500円(3回分一括)

お申し込み

下記いずれかの方法でお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。

- 公民館講座ホームページ <https://ashiya-kominkan.com/course/>
ホームページから申込フォームに入れます。自動返信メールが受講案内となっています。
芦屋市の方は、3月1日(日)から受付開始。市外の方は、3月15日(日)から受付開始。



- 往復ハガキ 往信面に ①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号をご記入の上、下記宛にお送りください。
返信ハガキが受講案内となっています。内容をよくご確認ください。